



分団長
千葉 良男

仕上がり状態も良く、好感触で臨んだ大会でしたが、残念ながら力及ばず入賞には至りませんでした。しかし訓練期間を含めた半年間の貴重な経験は、今後の消防活動に生かされると確信しています。ご支援いただきました皆さま、ありがとうございました。



班長☆指揮者
上野 勝俊

たくさんの人たちに支えられ全国大会に出場することができました。全国優勝の夢は叶いませんでしたが、6分団員一丸となり目標に向かって走り続けた一年でした。今回の失敗をバネに4年後、どんな形でもまたチャレンジしたいと思います。



団員☆1番員
外久保 博文

全国大会は、悔しい気持ちが残りました。操法は一発勝負で怖い。それが実感できただけでも良かったです。半年間、このチームでできて楽しかったです。4年後も選手になれるかわからないけど、リベンジしたいのでまた一から出直して頑張ります。



団員☆2番員
橋場 学

初めての全国大会でしたが、練習は本番のように、本番は練習どおりという気持ちで臨みました。いざ会場に入ると緊張のあまり周りが見えなくなり、来てみないとわからないことがあるんだなと思いました。自分が経験したことをきちんと次に伝えたいと思います。



団員☆3番員
小谷地 政康

今回の全国大会には、6年間務めた3番員の集大成として臨みました。普段どおりの自分たちの操法ができれば優勝できるレベルにあると実感しました。今度は別の立場で全国大会へ挑戦し優勝を目指していきます。



団員☆補助員
上野 喜史

全国に向けての練習が始まると、補助員の動きにも「規律厳正」が求められました。出場直前にサプライズがあり、頭が真っ白にならないよう必死に臨んだ大会でした。半年間、留守が多かったので来シーズンまでは家族サービスに励もうと思っています。



副分団長
丹内 久男

過去2回全国大会を経験し、いろいろ対策を考え取り組みましたが、やっぱり全国大会は難しかったです。でも方向性は、間違っていないと実感しました。6分団は一致団結し頑張りましたし、周りの方々の大きな協力・支援にとっても感謝しています。



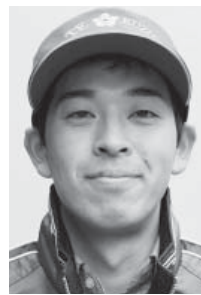
部長
田澤 真澄

少人数の分団が連続して全国大会へ出場でき、大きな自信となりました。選手たちは、全国でも期待の持てる操法を作り上げていましたが、普段の実力を発揮することの難しさを感じた大会でした。訓練の中で試行錯誤したことや反省点を次に生かしたいと思います。



団員
近藤 澄夫

今回は教える側でしたが、4年前の思いを全て選手たちに伝え、全国大会に挑んでもらいました。競技中、2番員の動きを目で追い、自分の思い描いていた操法をしていく姿を一つ一つ確認し、身震いしながらこぶしに力を込めていました。



団員
宮崎 隆浩

前回の神戸に続き、2度も全国大会という大舞台に連れてきていただいととても貴重な経験をさせていただきました。これは6分団だからこぞできたことだと思います。その6分団に在籍できたことを誇りに思います。



団員
中居 雅幸

町大会、支部大会、県大会を制して全国大会に出場することができました。6分団の人数は少ないですが、まとまりが良くチームワークは最高です。自分のできることをやり、少しでも選手の役に立てようこれからも頑張りたいと思います。



団員
上舘 健一

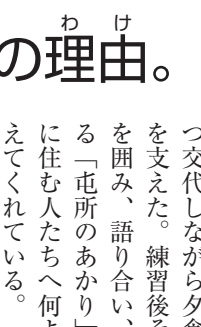
私は今年入団したばかりですが、全国大会に出場することができ、たくさんの貴重な経験をする事ができました。春からこの全国大会に向け毎日、指導や協力していただいた方々に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

6分団の強さの理由。それは「チームワーク」・「OBのサポート」・「地域のバックアップ」



葛巻町消防団長
長岡 宏

春から今まで本当にご苦労をかけた。家庭と地域の皆さんに助けられて、ここまでこれたのは最高です。全国レベルでも上位クラスにあるということを確認しただけでもとてもプラスになりました。他の県の人たちも葛巻町は上手だということを認めています。今回は良い宿題を与えられたと思い、めげずにこれからも頑張っていたきたいと思います。



もうひとつは「地域のバックアップ」。「応援には行けないけど、とてもどきどきしてるのよ」と婦人消防協力隊員の近藤康子さんと小谷地ウメ子さん。練習のある期間は週2回、協力隊14人で2人ずつ交代しながら夕食を準備し団員を支えた。練習後その温かい夕食を囲み、語り合い、夜遅くまで灯る「屯所のあかり」は、小田地区に住む人たちへ何よりも安心を与えてくれている。



葛巻分署長
下村 保彦

春から全国出場を目標にしていた第6分団の熱意には、並々ならぬものを感じていました。県で5回優勝、全国に3回目の出場となる第6分団は、支部大会や県大会の勝ち方を熟知、指導の私たちは安心して見守っていました。全国大会の結果は残念でしたが、今回の教訓を葛巻町消防団全体のものとして、2年後、4年後の全国へ生かしたいと思います。



第6分団婦人消防協力隊長
橋場 フサ子

半年間、一生懸命練習してきた団員たちを地域全体で応援しました。本番も一生懸命頑張ってくれました。ご苦労さまでしたと慰労してあげたいです。分署や役場からもいろいろご指導・ご援助いただきありがとうございました。選手たちはモチベーションなど難しかったと思いますが、今回の結果を糧に、4年後も頑張りたいと思います。



第6分団元分団長
荒谷 健一

春から「全国大会」を目標に大いなる闘志に、ひたむきに頑張る団員の皆さんに協力隊では健康、食事面で支えたいと頑張りました。練習で疲れた体を癒やしたり、冷えた体が温まるように工夫したり、私たちのできる目線で応援しました。微力ながら貢献できたこと本当に良かったと思います。団員の皆さんおめでとう、ご苦労さまでした。



第6分団元分団長
荒谷 健一

今回の6分団のチームは、葛巻分署員や団本部の指導によってかなり完成度の高い状況で全国大会へ挑むことができました。しかし結果としては良くありませんでしたが、葛巻町消防団の操法は、間違いなく全国を制覇できるレベルにあると確信しました。これからも、OBとしてサポートし続けていきます。